



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第50号 NO. 050

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2020年2月8日

「大災害時代の備え」命を守る・地域を守る

今回、国際ロータリー第2780地区、第8グループ、平塚北ロータリークラブにおいて「大災害時代の備え」命を守る・地域を守ると題し、「防災講演会」が開催されました。

講演は、第一部は行政の立場から地域の災害リスクや施設についての講演を、第2部は「生活インフラが破壊された場合でも生き抜く方法」を日本防災士会横浜支部の今井支部長が講演を行ないました。会場では防災グッズの展示及び実演を横浜支部の防災士2名が担当し大変好評をいただきました。

1. 日時: 令和2年2月8日(金) 14:35~16:15
2. 講演: 第一部:「平塚地域の災害リスクと防災施策」
第二部:「インフラ<0>を生き抜く方法」(日本防災士会横浜支部長)
3. 出席者 日本防災士会横浜支部 3名 今井支部長・乾副支部長・武田防災士
4. 防災グッズ展示説明

今回のテーマが「ライフライン」ということで、生活に密接に関わる「生活インフラ」電気・ガス・水道・交通機関・通信関連につきまして講演を行ないました。

特に台風15号・19が連続して関東地方に上陸し、千葉県、神奈川県において大きな被害が発生したことから感心も高く熱心に聴講して頂きました。この台風により身近に被害が発生している事から今までは避難などして事がなくとも、今度の台風については平塚市においても城山ダムの放流を聞いた相模川付近の住民が避難して避難所に入れない状態になりました。

このような状況を踏まえ、電気の停電による上・下水道の断水によるトイレが使用できない時のことを主に講演、簡易トイレ及びトイレグッズを展示した、講演会に参加した皆さんに会場での取り扱いの実演を行い、又は避難所におけるエコノミークラス症候群にならないように段ボールベットや着替えや授乳用のテント等も展示致しました。会場からトイレは大切だなどの声もありました。これからも、防災・減災活動を中心に据えて、地域の防災力向上を目指して取り組んでまいります。(文責 今井淳)

